

川崎市立川崎病院
令和7年度第1回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 令和7年6月10日（火）13時30分～14時02分

2 開催場所 川崎病院7階講堂

3 出席者

(1) 委員

古川 智洋（委員長）	川崎区医師会会長
大塚 宏之（副委員長）	川崎市医師会理事
佐々木 孝幸	川崎区歯科医師会会長
浅見 真吾	川崎区薬剤師会会長
小林 英之	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
八木 美智子	川崎市看護協会常務理事
岡田 昇	川崎区町内会連合会
工藤 芳樹	川崎市健康福祉局保健医療政策部担当部長
若尾 勇	川崎区役所地域みまもり支援センター副所長
伊藤 健一	川崎市消防局川崎消防署長

(2) 川崎病院

野崎 博之	病院長
澤藤 誠	副院長兼患者総合サポートセンター所長
藤原 美香	副院長兼看護部長
上野 浩一	救命救急センター所長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
小林 加寿夫	薬剤部長
引地 利昭	放射線技術科課長補佐
瀬川 裕	事務局長
伊藤 猛	事務局庶務課長
酒井 俊明	事務局医事課長
高橋 智常	患者総合サポートセンター副所長
舘山 奈緒子	患者総合サポートセンター担当課長
藤平 高志	患者総合サポートセンター担当課長

4 資料

資料1	令和7年度の委員会の構成及び開催日程について
資料2	紹介率・逆紹介率について
資料3	緊急受診・転院依頼応需状況について
資料4	医療機器共同利用予約受付件数について
資料5	P E T－C T運用実績について

- 資料6 地域の医療従事者を対象とした研修について
- 資料7 連携登録医の登録状況等について
- 資料8 市民公開講座について
- その他資料

前回運営委員会会議録
地域医療連携便りV o 1 . 4 6

5 議 事

- (1) 開 会 (司会進行 高橋患者総合サポートセンター副所長 (2) まで)
司会挨拶

- ・会議公開の確認
- ・委員全員の同意により公開。傍聴者2名。

- (2) 病院長あいさつ
(野崎病院長)

2040年を見据えた新たな地域医療構想を国等で検討されているところであると思われるが、川崎の南部、2次医療圏については2025年度現在急性期医療約1,000床過剰状態。先日、自民党、公明党、維新の三党合意で11万床の急性期医療機関の削減が合意された。2025年で過剰病床を解消するということが、南部医療圏で1,000床の急性期病床が削減されなければならない。今後当院もそういった流れに巻き込まれていくのかなと思っている。当院の果たすべき役割というのが3次医療機関として、高度で手術等必要な方に地域に提供するというのが使命であるので、そういう中で地域医療支援病院として地域の中で動けるように今回の運営委員会の皆様のご意見を伺いながら運営していきたいと思っている。

- (3) 委嘱状交付
団体等より3名、行政機関より2名が変更
任期は本日から令和8年3月31日まで
委嘱状は机上交付

- (4) 委員自己紹介
出席委員より自己紹介

- (5) 病院側出席者紹介
司会より出席者を紹介

(古川委員長による進行)

- (6) 議事録署名人選出
川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などにに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要なため、委員会開催の都度、委員長が指名。古川委員長が大塚宏之副委員長を指名し、大塚副委員長の承諾により議事録署名人となる。

(7) 議 題

議題1 令和7年度の委員会の構成及び開催日程について

(藤平担当課長)

- ・12名の委員で構成されており、委員会は年4回を予定している。

議題2 紹介率・逆紹介率について

(澤藤副院長)

- ・令和6年度は、紹介率が77.4%、逆紹介率が110.5%となっている。いずれも地域医療支援病院の要件を満たしている。紹介患者を地域からお受けする使命がありますが、月平均1,000人を超えることを目安にしている。資料下段に令和5年度の数字がありますが、昨年度初めて月平均1,000人を超え、令和6年度も超えることができた。

議題3 緊急受診・転院（転入）応需状況について

(澤藤副院長)

- ・令和6年度は、2,010件の依頼に対し、1,303件を応需し、応需率は64.8%となっている。当院の最近の数字は、約7割前後で推移している。応需は基本的に受けるべきだが、受けられない要因としては入院率が高くベッドの空きがない。また、12月に入ってから呼吸器感染症が流行し、受診者そのものも増えてきて、申し訳ないことだが応需率が下がってしまった。なお、転院（転入）に関しては100%の応需率となっている。

議題4 医療機器共同利用予約受付件数について

(藤平担当課長)

- ・令和6年度4月から3月までの10の検査項目等に対しては、計635件の予約受付があった。令和元年から令和5年度の5年間の平均受付件数は830.8件となっている。

(古川委員長)

- ・CT及びMRIは最新のものが導入されているのか現状をお聞きする。

(引地課長補佐)

- ・CTは3台あり1台は救急外来で使用しているが導入から時間がたっている。今後新棟が建ったのち更新を予定している。通常使用している残り2台の内1台は昨年更新した。もう1台も更新を予定している。MRIは3テスラの装置を3年前に更新したものとその1年前に1.5テスラの装置を更新したものがある。

(古川委員長)

- ・件数が減っているが、増やしたいならば、最新鋭とかそこら辺を広められたらいかがか。

(野崎病院長)

- ・3テスラのMRIは体内に金属がある場合に手術とかステープラが入っていると撮れない。なかなか適応が難しい。3テスラであるからこそ見えるものがあるので、アピールしたほうが良いかと思う。CTに関して今までの64列が320列に増えていると思う。実は特殊な撮り方をするには非常に適している機械。依頼では難しいと思われるので、診療の受診でお願いしたいと思う。例えば脳外科の手術前の血流画像とかそういうもの。

議題5 PET-CT運用実績について

(引地課長補佐)

- ・1～3月の件数は、合計で295件となっている。昨年度と比較すると65件増加している。令和6年度は1,173件。令和5年度は995件。178件の増加。

議題6 地域の医療従事者を対象とした研修について

(藤平担当課長)

- ・令和6年度の地域の医療従事者を対象とした医師用の研修は、6回実施しており、合計324名の受講者があった。令和7年度は、現段階では3回実施する予定。

(舘山担当課長)

- ・地域の医療従事者を対象とした看護師用の研修について、公開講座4回、地域ケア懇談会2回、出張講座5回計11回実施。462名の受講者があった。令和7年度は地域ケア懇談会2回、出張講座1回合計3回実施する予定。この資料に記載はないが出張講座3回が足される予定。

(古川委員長)

- ・この研修は、地域医療支援病院として実施しなければならないということか。

(澤藤副院長)

- ・お見込みのとおり。

(古川委員長)

- ・先ほどの紹介率・逆紹介率と同じということ。

議題7 連携登録医の登録状況等について

(藤平担当課長)

- ・令和7年5月1日現在で、前回から1件増えて615の医療機関等に御登録をいただいている。増減の内訳について、医科は新規が2件、閉院し登録削除したクリニックが1件、歯科では新規が1件、閉院し登録削除したクリニックが1件あった。引き続きのご協力をお願いしたい。

議題8 市民公開講座について

(藤平担当課長)

- ・令和6年度は7回開催し349名の参加があった。令和7年度は7回予定しており、第1回目を6月25日(水)に実施する。

(佐々木委員)

- ・議題の7番連携登録医の登録状況等についてですが、親子継承で院長が変更となることが予想されますが、届け出は必要か。

(藤平担当課長)

- ・変更届が必要となるため、患者総合サポートセンターへご連絡をください。

(司会を事務局へ返す。)

(9) 閉 会

(澤藤副院長)

昨今、病院事業に厳しい状況が言われている。地域医療のために当院がどのようにしていったらよいのかと常に考えている。委員の皆様には、こういう状況で当院はやっていることをご理解いただきたい。ご意見等ありましたらお話しいただき、それを参考にしながら役立てていきたい。

以上